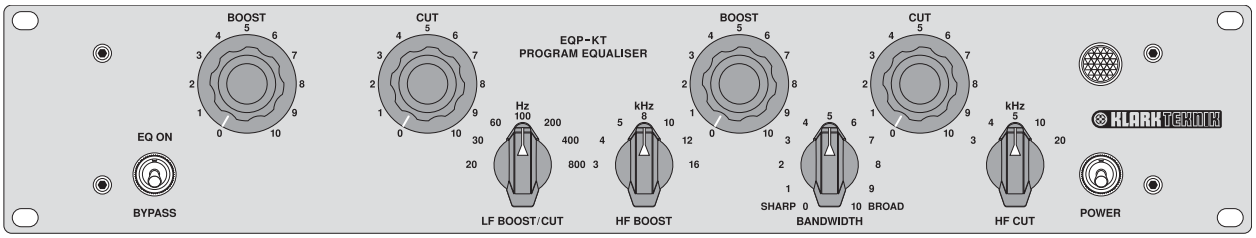
クイックスタートガイド

JP



EQP-KT

Classic Tube Equaliser with Switchable Frequency Selection,
Variable Bandwidth and Custom-Built Midas Transformers

KLARK TEKNIK

JP

JP 安全にお使いいただくために

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK!
DO NOT OPEN!
ATTENTION
RISQUE D'ÉLECTROCUTION !
NE PAS OUVRIR !

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

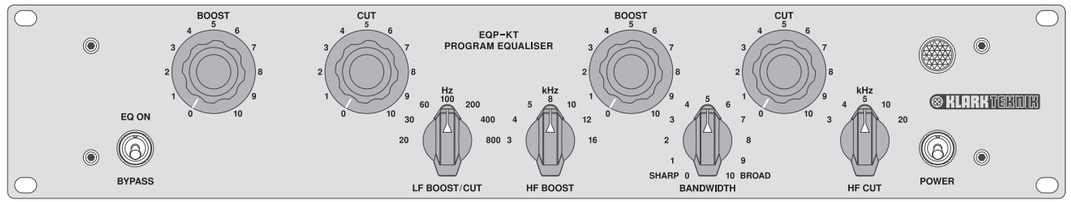
法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

1. 前書き



The EQP-KT - front panel

ようこそ！

EQP-KT クラシックチューブイコライザーをお買い上げいただきありがとうございます。

EQP-KT は、1950 年代初頭に最初に製造された伝説的な Pultec EQP-1A イコライザーからインスピレーションを得ています。その古典的な時代以来、Pultec イコライザーはその滑らかで音楽的なサウンドで高く評価されており、オーディオエンジニアは、トラッキングからマスタリングまで、レコーディングのすべての段階でこれらのイコライザーを展開してきました。

EQP-KT を使用すると、Klark Teknik はクラシックなチューブベースの Pultec サウンドを最新のものにします。今日のクラシックパルテックユニットは非常に高く評価されており、非常に希少で非常に高価ですが、今ではこの時代を超越したクラシックは 21 世紀の需要に対応できます。これらの要求を満たすために、Klark Teknik は、プレミアムコンポーネント、頑丈な設計、最新の製造技術をすべてわずかな価格で導入しています。クラシックのこの近代化されたバージョンは、今日のハイテクオーディオ機器と一緒にラックにうまく収まり、信頼性が高くシームレスに機能します。

特徴

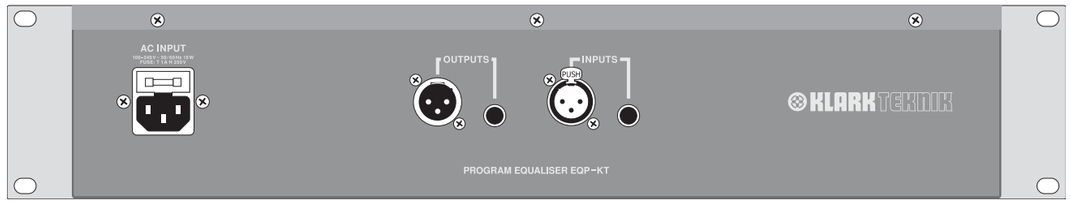
- クラシックな Pultec EQP-1A をベースにしたシングルチャンネル、2 バンドイコライザー
- クラス A、最高のシグナルインテグリティを実現するすべてのディスクリート回路
- プレミアムセレクション 12AX7 および 12AU7 チューブ
- カスタムビルドの Midas 設計の入力および出力トランス
- 7つまたは5つの周波数ポイントを備えた切り替え可能な周波数セレクター
- 独立したブーストとカットのコントロールは、創造的な可能性を大きく広げます
- ワイドサウンドスカルプティングのための可変帯域幅制御
- インダクタベースのイコライザーセクション
- バイパス機能により、A / B 比較が可能
- Neutrik XLR コネクタのトランスバランス入力および出力
- ポータブルアプリケーションでの耐久性のための頑丈な2Uラックマウントシャーシ
- オートレンジユニバーサルスイッチモード電源
- イギリスで設計および設計された

このマニュアルについて

EQP-KT クラシックチューブイコライザーの取扱説明書です。このマニュアルは、開梱、設置、接続、セットアップ、および操作の手順を説明することにより、ユニットをできるだけ早く設置して操作できるようにすることを目的としています。EQP-KT に 慣れるために、フロントパネルとリアパネルの説明と、わかりやすいユーザー指示があります。

JP

2. はじめに



The EQP-KT - rear panel

このセクションでは、EQP-KT クラシックチューブイコライザーを開梱、設置、接続、電源投入、および構成する方法について説明します。

この機器は、感電の原因となる可能性のある主電源電圧によって供給されます。この装置を設置、セットアップ、または操作する前に、このセクションのすべてと、このマニュアルの冒頭にある「重要な安全上の注意」を読み、完全に理解していることを確認してください。ユニットの上部カバーにある追加の安全情報を参照してください。

開梱

EQP-KT ユニットを慎重に開梱します。次に、輸送中に発生した可能性のある損傷の兆候がないか EQP-KT ユニットを注意深く検査し、損傷が見つかった場合はすぐに宅配便業者に通知します。

EQP-KT ユニット機器パッケージの内容を確認してください。不足している、正しくない、または欠陥のある部品がある場合は、最寄りの販売店またはこのマニュアルの冒頭にあるアドレスの KlarkTeknik に連絡してください。

機器をメーカーまたはサプライヤーに返却する必要がある場合、または後でユニットを輸送または出荷する必要がある場合に備えて、元の梱包を保持してください。

この装置を設置、セットアップ、または操作する前に、このドキュメントの冒頭にあるすべての「重要な安全上の注意」を読み、完全に理解していることを確認してください。

インストール

この装置を設置して操作する前に、各主電源リード線を介して主電源電圧供給ソケット出口の保護接地導体に正しく接続されていることを確認してください。

理想的には、配電設備やその他の潜在的な干渉源から離れた、涼しい場所が望ましいです。

換気の悪い場所に機器を設置しないでください。

過度の熱、ほこり、または機械的振動にさらされる場所にこの装置を設置しないでください。機器の周囲に十分な換気を行い、ファンと通気口が塞がれていないことを確認してください。可能な限り、機器を直射日光にさらさないでください。

ラックにのみ取り付けてください。

力

内部電源装置は、入力主電源電圧を自動的に検出するスイッチモードタイプであり、公称電圧が 100 VAC 〜 240 VAC の範囲にある場合に機能します。

ユニットが出荷されたエリアで接続するための正しいリード線は、ユニットに付属しています。機器は、付属のリード線を使用して主電源コンセントにのみ接続する必要があります。

付属のメインケーブルに取り付けられているプラグが、ユニットのメイン IEC コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してください。プラグを取り付けたり取り外したりするときは、プラグ自体を常に持ち、ケーブルを使用しないでください。ケーブルが損傷する可能性があります。濡れた手でコンセントを抜き差ししないでください。

機器の取り扱い

機器を持ち上げたり移動したりするときは、常にそのサイズと重量を考慮してください。

機器を電気的に完全に隔離し、すべてのケーブルを機器から外してから移動してください。

電界

FCC 規則および規制のパート 15 に従い、「…コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。」

この製品を可聴周波数信号 (20 Hz〜20 kHz) で振幅変調された電磁界で使用すると、信号対雑音比が低下する可能性があります。極端な条件下 (3 V / m、90% 変調) では、変調信号に対応する周波数で最大 60dB の劣化が発生する可能性があります。

接続する

EQP-KT ユニットは、次のリード線とコネクタを使用します。

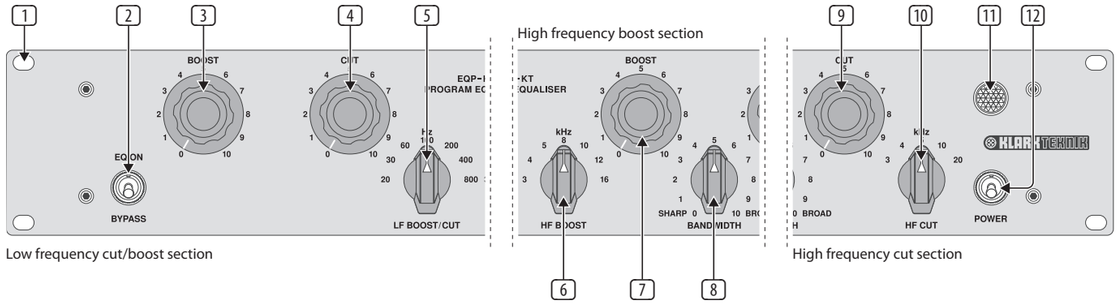
アナログ入力:ライン入力-トランスバランス XLR および ¼" TRS コネクタ-> 600 Ω

アナログ出力: ライン出力-トランスバランス XLR および ¼" TRS コネクタ-< 300 Ω

電源接続: IEC メインインレット– 100-240 V AC 〜 50-60 Hz

EQP-KT ユニットと組み合わせて使用するコネクタの詳細については、セクション5.コネクタを参照してください。

3. フロントパネル



1 ラックマウント固定用の4つの切り欠きがあります。

2 EQP-KT を信号パスに出し入れするためのEQオン/バイパススイッチ。

低周波カット / ブーストセクション

3 低周波数ブーストノブは、LF ブースト/カットスイッチによって選択された低周波数カットオフポイントから始まる可変シェルフブーストを提供します。

4 低周波数カットノブは、LF ブースト/カットスイッチで選択された低周波数から始まる可変シェルフカットを提供します。

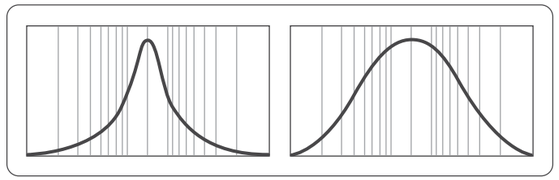
5 LF Boost / Cut ロータリースイッチは、低周波数の Boost および Cut コントロールのカットオフ周波数を設定します。

高周波ブーストセクション

6 HF Boost ロータリースイッチは、ブーストする高周波帯域を選択します。

7 高周波ブーストノブは、HF ブーストスイッチによって選択された高周波帯域に適用されるブーストの量を制御します。

8 帯域幅ロータリースイッチは、高周波ブーストカーブの幅と形状を比較的鋭いものから広いものまで変化させます。鋭いブーストカーブは、楽器の特定のオクターブをブーストするなど、詳細なイコライゼーションに役立ちます。一方、より広いブーストカーブは、より広い周波数グループに影響を与え、より自然で穏やかなサウンドのシェーピングを提供します。



Sharp and broad bandwidth curves

高周波カット部

9 高周波カットノブは、HF カットロータリースイッチによって選択された高周波カットオフポイントから始まる可変シェルフカットを提供します。

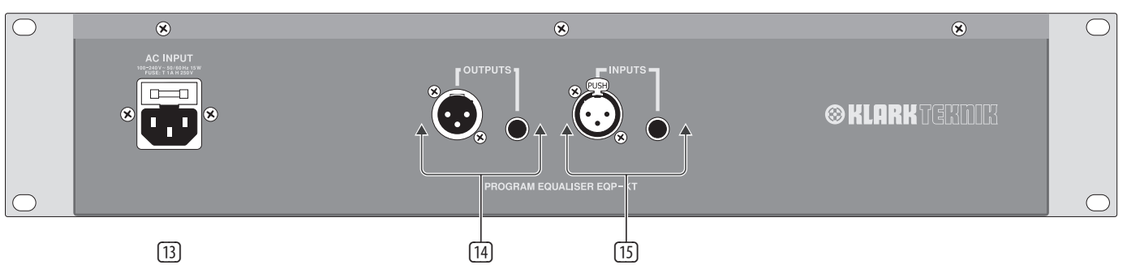
10 HF カットロータリースイッチは、高周波カットノブのカットオフ周波数を設定します。

フロントパネルの電源セクション

11 電源スイッチをオンの位置にすると、電源インジケータランプが点灯します。

12 電源スイッチは、ユニットのオンとオフを切り替えます。

4. 後面パネル



13 メイン IEC ソケット。

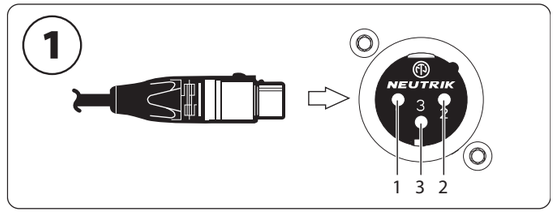
14 出力セクションは、ライン機器用のバランスオス XLR および ¼" TRS 出力接続を提供します。アンバランス信号は、¼" TS コネクタと ¼" シャーシコネクタを使用して接続することもできます。

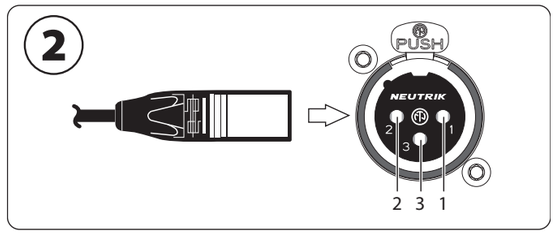
15 入力セクションは、マイク/ライン機器用のバランスメス XLR および ¼" TRS 入力接続を提供します。アンバランス信号は、¼" TS コネクタと ¼" シャーシコネクタを使用して接続することもできます。

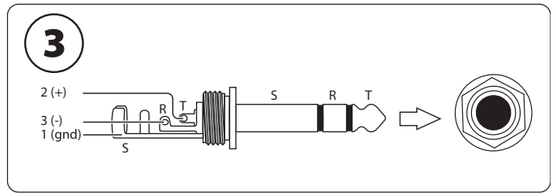
JP

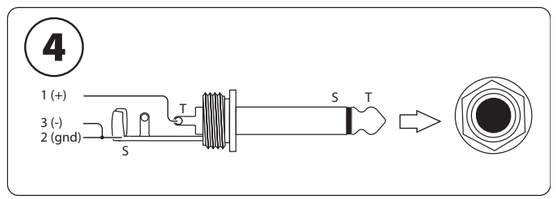
5. コネクタ

機器の正確で信頼性の高い動作を保証するには、高品質のバランスの取れた、遮蔽されたツイストペアオーディオケーブルのみを使用する必要があります。XLR コネクタシェルは、コンソール/スネークに接続したときにスクリーンを提供するように金属構造である必要があり、必要に応じて、ケーブルスクリーンにピン1を接続する必要があります。









1 **バランスライン出力オーディオコネクタ。**
次のピン配列のメス XLR プラグとオス XLR シャーシコネクタ: 1 = アース。2 = 暑い; および 3 = 寒い。

2 **バランスライン入力オーディオコネクタ。**
次のピン配列のオス XLR プラグとメス XLR シャーシコネクタ: 1 = アース。2 = 暑い; および 3 = 寒い。

3 **バランスライン入力/出力オーディオコネクタ。**
オスの TRS プラグをメスの ¼" TRS シャーシコネクタに接続します。ピン配列は1 / スリーブ=アース、2 / チップ=ホット (+)、3 / リング=コールド (-) です。

4 **不平衡ライン入力/出力オーディオコネクタ。**
次のピン配列を備えたメスの ¼" TRS シャーシコネクタへのオスの TS プラグ: 2、3 / スリーブ=アース/コールド (-); および 1 / チップ=ホット (+)。

6. 操作

「ローエンドトリック」

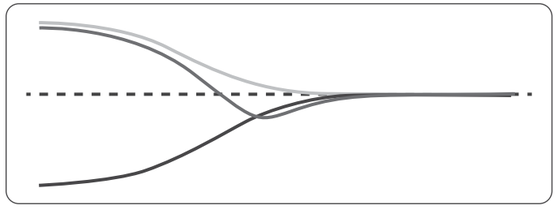
EQP-KT 回路アーキテクチャにより、低周波数のブーストとカットの両方を同時に行うことができます。このデュアルブースト/カット機能を使用して、「ローエンドトリック」と呼ばれる特定のイコライゼーションカーブをダイヤルインできます。

この同時のブーストとカットにより、多くのエンジニアがバスドラムのイコライジングに役立つと考えている複合カーブが得られます。この組み合わされた曲線は、ローエンドのカットとブーストを同時に行う量を変更したり、LF Boost / Cut ロータリースイッチで低周波数のカットオフポイントをシフトしたりすることで調整できます。

経験の浅いユーザーは、ブーストとカットを同時にキャンセルする必要があると想定していますが、ブーストとカットのコントロールはそれぞれ異なるイコライゼーションカーブとゲインの可能性があるため、この完全なキャンセルは発生しません。(これらの異なる同時ブーストおよびカット回路の元の設計根拠は歴史に失われていますが、オーディオエンジニアはそれ以来、結果として得られるサウンドの音楽性を愛してきました。)

これらの違いにより、ブーストカーブとカットカーブを組み合わせると、通常、ローエンドでブーストが発生し、ミッドレンジ周波数でディップが発生します。

次の図は、ローエンドのブースト (青) 曲線とカット (黒) 曲線、および結果の結合曲線 (赤) を示しています。



Combined "Low End Trick" curve

「バイパストリック」

バイパスモードでも、EQP-KT はオーディオ信号に微妙な光沢と豊かさを加えることができます。

このパッシブ信号の色付けを利用するには、EQP-KT を選択したポイントの信号パス (通常は信号チェーンの初期) に配置します。

シグナルチェーンに配置したら、EQP-KT の電源を入れ、EQ オン/バイパススイッチを「バイパス」設定に設定します。 EQP-KT の回路設計により、「バイパスされた」信号は引き続き EQP-KT のトランスとチューブを通過します。これらのアナログコンポーネントは、信号がユニティゲインで EQP-KT に出入りするときでも、信号をバッファリングし、厚みと高調波を追加します。

技術仕様

オーディオ入力	
タイプ	XLR, 1/4" TRS, トランスバランス
インピーダンス	>600 Ω, バランスとアンバランス
最大 入力レベル	+21 dBu
最適な入力レベル	+4 dBu
音声出力	
タイプ	XLR, 1/4" TRS, トランスバランス
最小 出力負荷インピーダンス	600 Ω
インピーダンス	<300 Ω, バランスとアンバランス
最大 出力レベル	+21 dBu
システム仕様	
周波数応答	20 Hz ~ 20 kHz, ±1 dB
歪み (THD + N)	<0.1% @ 1 kHz, +4 dBu
ダイナミックレンジ (20 Hz〜20 kHz、重み付けなし)	>101 dB, 典型的な
S / N 比	80 dB @ +4 dBu に
回路	クラス A
真空管	12AX7, 12AU7
フィルタ	
低周波カット/ブーストセクション	
ブースト	0 ~ 12 dB, 棚
切る	0 ~ -24 dB, 棚
LF ブースト/カット	20, 30, 60, 100, 200 ,400, 800 Hz, 選択可能
高周波ブーストセクション	
ブースト	0 ~+15 dB (シャープ) 0 ~ +10 dB (幅広い)
HF ブースト	3, 4, 5, 8, 10, 12, 16 kHz, 選択可能
帯域幅	Q = 1 to 10 (シャープからブロード)、選択可能
高周波カット部	
切る	0 ~ -20 dB, 棚
HF カット	3, 4, 5, 10, 20 kHz, 棚
電源	
主電源電圧	100 – 240 V~, 50/60 Hz
消費電力	15 W
ヒューズ	T1AH 250V
主電源接続	標準 IEC レセプタクル
物理的	
寸法 (H x W x D)	88 x 483 x 167 mm (3.5 x 19 x 6.6")
重量	3.0 kg (6.6 lbs)

JP

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。